

「論語」に親しみ、よりよい生き方を考えます

およそ 2500 年前の中国、春秋時代末期の思想家であり、キリスト、釈迦、ソクラテスと並ぶ『四聖人（知識と道徳が優れている理想的な人物）』の一人とされ、儒教の開祖でもある孔子。春秋時代という戦乱の時勢で、権力や刑罰に頼った政治ではなく、「礼儀」や「道徳」といった社会秩序ある政治を行う君主を求め、政治顧問として進言し続けるなど、74 歳の生涯を理想社会の実現に注いだとされます。その孔子の教えを残すため 弟子たちにより、弟子たちとのやり取りをまとめて作られたのが「論語」です。その教えは日本にも伝わり、聖徳太子や空海なども学び、江戸時代には広く一般庶民にも親しまれるようになりました。昨年の NHK 大河ドラマ「青天を衝け」の主人公で実業家の渋沢栄一が、実業を行う上での規範としたことでも有名です。

新見市は「ふるさとを愛し、未来を拓く、たくましいひとづくり」を目標に、知・徳・体のバランスの取れた教育活動の推進に取り組んでいます。その、「徳」を育む柱に据えられているのが「論語教育」です。新見南中学校は今年度、その論語教育推進のモデル校に指定されています。これを機に、これまで以上に広く深く、人間としてのあり方や生き方を考えられるよう、「論語」に親しむ活動に取り組みます。まずは、生徒全員に配られる「クマ先生とよ論語」を朝読書の時間の一部を利用して読み、自分なりの学びを重ね、記録していきます。そして、少しずつ、教科の授業や行事などで論語に親しむ機会を増やしていきます。生徒だけでなく、家族や地域の方々にも親しんでいただき、学びを交流できるようにしたいです。



論語教育のスタートにあたり、その意義を示すような論語を紹介します。

「故きを温めて新しきを知る、以て師と為るべし」

～古いことを調べ尋ねて、そこから新しい発見が得られれば、必ず他人に学ばせることができよう。～
(有名な四字熟語「温故知新」の出所)

紹介します。ルール(規則)遵守とマナー(思いやり)の光景



先日目にした、広瀬地区市道での登校時の光景を紹介します。

自転車通学の男子生徒2人が広瀬地区市道を横断するため、歩道内で自転車を降りると、同じ方向から1台乗用車が向かってきました。2人に気づいたドライバーの男性は、ゆっくりと速度を落とし止まり、「どうぞ」と頭を下げてくださいました。2人の生徒も頭を下げ自転車を押して道路を渡りました。そして、走り去っていく車に向かってもう一度お辞儀をしました。

続いて、女子生徒2人が同様に歩道で自転車を降り、対向車が来るので待っていると、ドライバーの女性がゆっくりと車を止め、「どうぞ」と手で合図をしてくださいました。2人はお辞儀をして自転車を押して横断しました。ドライバーの女性はにっこりと笑顔で頭を下げ、再び車を走らせました。

ルールを守り、マナー(思いやり)を交わしあうことで、幸せが広がることを感じました。ありがとうございました。他にも、いろいろな場面でこうした光景がたくさんあると思います。

ともに生徒を育む家庭と学校に 授業参観・学年支会・PTA 総会・部活動保護者会

4月23日(土)、今年度第1回参観日を設け、授業参観、学年支会、PTA 総会、部活動保護者会を行いました。年度初めの休日、大変お忙しい中、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき心から感謝いたします。

参観授業では、各クラスの担任による授業をご覧いただきました。保護者の視線に生徒も授業者も少し緊張気味でしたが、新年度を迎えたクラスの雰囲気や生徒の意気込みなども感じ取っていただけたことと思います。1年生の授業は、生徒数の関係から参観時間帯を前半後半の2つに分け、教室での参観と体育館での Zoom による遠隔参観となりました。ご不便をおかけしましたが、ご協力をいただきありがとうございました。

学年支会では、学年団の紹介に続き、学年運営の方針や当面の行事等について紹介し、学年支会活動等についての話し合いが行われました。諸行事については、コロナ禍の収束は見えませんが、感染対策のもと、生徒により多くの体験や活動機会が提供できるよう、保護者の皆様の理解を得ながら、可能な限り実施する予定であることを伝えさせていただきました。

PTA総会では、令和3年度の活動を振り返り、今年度の活動計画について協議され承認をいただきました。昨年度、新型コロナの影響により様々な活動の変更や中止等大変な苦心を要するPTA活動ではありましたが、安全を一番にした運営と実施の様子が報告に表れていました。会長綱島恵二様をはじめ、令和3年度のPTA役員の皆様そして全会員の皆様、1年間本当にありがとうございました。引き継がれる令和4年度の役員・会員の皆様、新しい1年間お世話になります。

令和4年度新見南中学校PTA役員(会長・副会長)

会 長 柏葉 孝明 様

副会長 大井 薫 様、 神山 順一 様、 古屋 純子 様、 三村 善彦 様、 森谷 剛士 様

生徒とともに育む家庭と学校との連携・協力に向け、これからもよろしくお願いいたします。



5月の主な行事予定

下校バスの時刻は主な行事がある場合のみ掲載しています。



日付	行事内容	下校バス	日付	行事内容	下校バス
③日(火)	憲法記念日		16日(月)	内科検診(1・2年生)	18:00
④日(水)	みどりの日		19日(木)	修学旅行(3年生)	18:00
⑤日(木)	こどもの日		20日(金)	修学旅行(3年生)	16:00
9日(月)	内科検診(3年生)	18:00	21日(土)	修学旅行(3年生)	11:30
10日(火)	学校集金日	18:00	23日(月)	振替休業日(3年生)	18:00
11日(水)	心電図・心音図・尿検査	16:00	25日(水)	職員会議	13:00
13日(金)	生徒総会		27日(金)	小中連絡会	18:00

裏面に続きます

五月晴れ、自然の中で親睦を深めました 1年生 校外学習

4月28日(木)、1年生が校外学習を行いました。雲一つない快晴、まさに五月晴れの空の下、給食でエネルギーをいっぱいにした1年生は哲多町の久保井野キャンプ場へと山道を登りました。出発前、「今日の校外学習を楽しみにしていましたか」の質問に元気に「はい!」と答えた一行は、長い坂道にもへこたれず進み、大きな樹木の影で覆われた山道にワイワイと賑やかな声を響かせました。

予定通り1時間少々をかけて到着した久保井野キャンプ場。映画“バッテリー”のロケ地でもある広場には、ロケやポスターにも使われた古いスコアボードも残り、当時とほぼ同様の丈の低い草が一面に広がっていました。

その広場で休憩をはさんだ後4つの班それぞれが企画したゲームを行いました。「ゴロゴロドッカン!」「じゃんけん王国」「だるまさんが転んだ!」「木こりとリス」いずれも楽しく、みんなこれまで教室では隠していた童心を発揮しました。ゲームの敗者や勝利者に与えられた、自己紹介やインタビューにもしっかり大きな声で答えました。リクエストに応え一発ギャグを披露する生徒や担任の先生もいて、大いに盛り上がりました。久々に見た、40人近くでの「だるまさんが転んだ!」はあまりの真剣さと無邪気さに見ている側も感動し、心の底から笑顔になりました。

すべてのゲームを終え、担任からの「楽しかったですか?」の問いに全員が「はい」と元気に手を挙げて答えました。

午後から半日の徒歩での校外学習。「どうせ…」ではなく「せっかく、みんなで行く校外学習だから」と積極的に取り組み、楽しく充実した活動にした1年生、素晴らしい!改めて魅力発見です。



地域・専門家と協力し防災体制の充実を 岡山県学校安全総合支援事業実施校に

県下の学校にかかわる災害の状況は、平成30年7月豪雨等による自然災害、登下校中の子供が巻き込まれる交通事故、さらには、不審者による子供の安全を脅かす事件などが発生している現状にあります。この現状を受け、学校の安全教育の充実や地域等との組織的な取り組みによる学校の安全管理体制の充実を図ることを目的に、岡山県学校安全総合支援事業が行われています。今年度は新見南中学校がその事業の実施校として選ばれました。これは、以前から地域の協力のもと、生徒が地域の防災訓練等に参加するなど組織的な防災教育に取り組んでいる本校の実践や地域の防災体制が事業趣旨に適し、モデル校としての発展が期待されるためです。6月からの具体的な実践開始に向け、現在年間計画を作成中です。保護者の皆様、地域の皆様にもご協力をお願いすることが多くなりますが、防災に対する地域連携や生徒の安全意識向上に向けどうぞよろしくお願いいたします。



平和の尊さ、戦争・原爆の事実と悲壮を知る 2年生 広島平和学習

4月28日(木)、2年生は広島平和学習を行いました。ロシアのウクライナ侵攻が続き、ウクライナの戦況や被害に心を痛めるとともに、いつ同じことが身近に起こるかも知れないという不安も増す世界情勢。改めて戦争と核兵器使用の悲惨な現実を知り、平和について生徒一人一人が自分事として考える学習機会を作ろうと2年団が当初の予定を変更し計画・実施しました。

バス2台で快晴の広島平和記念公園に到着した2年生。きれいに整備された街並みや美しい公園の施設の光景に、自分たちが事前に学習した広島の当時の光景を重ねると、現実の出来事とは思えないようでした。

しかし、平和記念資料館に入ると、そこには77年前の物言わぬ品々や資料が、現実を語りかけました。遺品や原爆の被害を受けた人や物の写真や現物、それぞれを解説した掲示物にみんな真剣に見入りました。予定していた時間では足りないほど、予想以上に、一つ一つの資料を丁寧に見続ける2年生。人間が起こした悲惨な歴史と現実、そして今も続くその恐怖と危機に思いを馳せる姿に、改めて平和を保障する大人の責任も感じました。

資料館の見学を終えた後、原爆の子の像の前で平和集会を行いました。B組森中朝日さんの司会により始められた集会で、2年生全員で折り綴った千羽鶴をA組石田心優さんとB組三上來芽さんが奉納しました。そして、実行委員長A組宮脇康生君の誓いの言葉に続けて全員で黙とうを捧げました。

学習の後半は、公園内でお弁当をいただいた後、原爆投下の被害の跡を残す袋町小学校や原爆ドームなどを班別で見学して回りました。

今回の平和学習が、被爆地広島を訪れ学んだことを、2年生一人一人が、身近な人に対して、そして社会に対してどう生かしていくかを考える機会になり、自分にできることは何かを考え続けるきっかけになればと思います。真剣に学習に臨んだ2年生に感謝します。



平和宣言

私たちは戦争で亡くなった多くの人々の命の尊さを忘れません。そして、今起きている、ロシアの侵攻が早く終息することを祈り、日本や他国で起きた争いを忘れず、世界中の人の幸せを願います。また、この学習を未来の人に伝えていきます。私たちは、一人一人が笑顔で平和に暮らせるように努力することを誓います。

令和4年4月28日
新見市立新見南中学校 2年生

